

豪雨や台風

への準備と

有事の際には

迅速な行動を！

近年、全国各地で局地的豪雨や台風により、大規模な風水害や土砂災害が発生しています。市でも、ここ数年の降雨状況が局地・短時間豪雨化しているほか、接近する台風も巨体化傾向にあり、大規模な風水害や土砂災害が発生する危険性が高くなっています。

風水害や土砂災害から身を守るためには、最新の気象情報などに注意し、市から避難の呼びかけがあったときには、正しく迅速に行動することが重要です。

家庭や地域で風水害や土砂災害について理解し、有事の際には、適切に行動できるよう確認しておきましょう。

問い合わせ 危機管理課 増田 ☎(23) 0058

自宅や地域の危険個所と避難先の確認を

平常時から、河川の決壊や氾濫がおきたときの想定をしておくこと（ハザードマップ）や、自宅周辺や地域の土砂災害が起こりそうな危険箇所を

把握しておくことで、いざ避難となったとき、危険な場所を避けて安全に避難できます。

ハザードマップや市ホームページを活用し、事前に家族や地域で話し合い、危険個所の把握や避難先の確認をしておくことが大切です。

災害対策の第一歩は「情報収集」から

風水害や土砂災害などから身を守るための第一歩は「情報収集」です。

天候の推移や河川の状況など、最新の情報を把握することで、市から避難の呼びかけがあったときすぐに避難できる

地上デジタルテレビのデータ放送



地上デジタルテレビのリモコンの「d」ボタンから、データ放送の防災情報（天気予報、降雨状況、河川水位など）が見られます。dボタンは、テレビの機種によって配置が異なります。

*河川水位はSBS（静岡放送）、NHK（日本放送協会）のみの提供です。

インターネットによる情報収集



●気象庁 <http://www.jma.go.jp>
雨雲の動き、台風の勢力や進路のほか、土砂災害などに関する防災情報が提供されています。

●サイボスレーダー <http://sipos.pref.shizuoka.jp>
県が運営するホームページで、市の天気予報や雨量のほか、萩間・勝間田・坂口谷川の水位情報やライブ映像などが閲覧できます。

避難の呼びかけ手段

市からの避難の呼びかけ（避難勧告などを発令）は、同報無線や市ホームページのほか、「緊急速報メール」（NTTドコモでは「エリアメール」と呼ぶ場合があります）で実施します。

台風や豪雨のとき、市では最新情報を多角的に分析し、気象台なども連携しながら市内の状況を常に監視し、災害が発生する恐れがある地域や災害が発生した地域に対しては、避難の呼びかけを実施（避難勧告などを発令）します。呼びかけの種類によって、発令時の状況と住民に求められる行動が異なります。正しく理解し、呼びかけがあったときには、速やかな避難行動をお願いします。

市からの呼びかけで迅速な避難を

よう、準備や心構えもできるはず。家庭や地域では、地上デジタルテレビのデータ放送やインターネットから降雨状況や河川水位などの最新情報が分かります。

市では、河川の決壊や氾濫を想定した「牧之原市洪水ハザードマップ（洪水避難地図）」を作成し、全戸配布しています。市ホームページからも閲覧できます。また、県が順次調査を進めている市内の土砂災害危険箇所も、同じページから確認できます。

牧之原市 洪水ハザードマップ で 検索

区と町内会の避難地が、平成26年度に見直されました。これまで避難先としていた避難地が、変更となっている場合があります。

牧之原市 地域の避難地 で 検索

避難勧告などの種類と住民に求める行動

情報の種類	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備情報	人的被害が発生する可能性が高い	高齢者など、避難に時間がかかる人は避難開始
避難勧告	人的被害が発生する可能性がさらに高い	避難所へ速やかに避難を始める
避難指示	災害の前兆現象が発生し切迫している	避難が完了している

低 事象の深刻度 高

緊急速報メールは、災害発生の危険度が高くなったときになどに、携帯電話へ強制的に送信されますので、このメールに十分注意してください。なお、受信拒否設定となっている場合や、一部の携帯電話には、緊急速報メールが届きません。受信設定や機能の有無などは、携帯電話会社へお問い合わせください。

無理な避難をしない「垂直避難」も有効

夜間や雨脚が強い状況下での子どもや高齢者、足腰が不自由な人などの避難は、大変危険です。無理に避難所へ移動せず、住宅の2階など、高いところへの避難（垂直避難）も有効です。
*河川の近くや土砂災害の危険区域にお住まいの方は、避難所への避難を優先してください。



梅雨や台風の季節がやってきます

台風18号の影響による川の増水（平成26年10月6日）